

俳句「一般の部」 加藤 美佐代・文化協会文芸部会 選

優 秀 賞

青空に届けとばかり若楓

鈴木 幸恵

「選者の寸評」

青空に吸い込まれそうにさゆらぐさまは、まことにすがすがしく明るいものです。若楓の柔らかな緑の情景が広がり、すっきりとした好句です。

矢田川や網に跳ねたる銀の鮎

石川 盛久

「選者の寸評」

川魚の王様といわれる鮎を矢田川で釣られた作者の感動が伝わってきます。釣り人冥利に尽きる一句に仕上がっています。

絵筆置く牡丹崩るる夕べかな

亀山 敏子

「選者の寸評」

牡丹の花を写生してをられる作者の一日の工程が浮かびます。描きあげて静かに絵筆を置くまでの一連の所作が見て取れます。品のよいお句です。